

川崎市議会議員

本間 賢次郎

市政レポート No. 12 (平成 30 年 12 月号)

事務所 〒210-0834 川崎市川崎区大島 3-14-17
TEL044-742-8072 FAX044-211-1081

ごあいさつ



今年も早いもので師走を迎え、一年を振り返る頃となりました。さて、先月は本市には明るい話題が相次ぎました。サッカーJ1リーグでは、川崎フロンターレが史上5クラブ目となる連覇達成。大相撲では、川崎区出身の友風関が新十両として臨んだ十一月場所で見事に優勝を果たしました。また、光触媒の権威として高名な本市在住の藤島昭氏(東京理科大学名誉教授)に対しての名誉市民章贈呈式が市議会議場にて執り行われました。本市では教育委員として多大なるご尽力とご貢献を頂き、今日までのご功績に深く感謝と敬意の意を表します。まさに、今年の川崎の秋は、文化、スポーツ、学術にと実りの多い秋となりました。引き続き、人口 151 万人都市に相応しい風土の醸成に向け、さまざまな取り組みを行ってまいります。

※川崎市名誉市民章受章者は、岡本太郎氏以来 26 年ぶり 5 人目。

平成 30 年第 4 回定例会 代表質問に立つ！

去る 11 月 26 日より年内最後となる議会、平成 30 年第 4 回定例会が開会しました。初日に市長の演説をはじめ行政の各局長より今議会に提出された議案等についての説明が行われ、患者数が急増している風疹対策については、速やかに代表質疑が行われました。12 月 5 日からの各会派の代表質問を皮切りに論戦を交わし、委員会、一般質問を経て、12 月 19 日の会期末へと向かいます。

論戦の幕開けとなる代表質問のトップバッターを私、本間賢次郎が務めることとなりました。市議当選 1 年の節目に代表質問の演台に立てるの

も、偏に日頃の活動にご理解とご支援を頂いております皆様のお蔭です。自由民主党を代表しての気持ちはもちろんのこと、何よりも市民の代弁者としての自覚を持って登壇し、今後もその矜持を胸に務めて参ります。

代表質問の内容は多岐に渡ります。昨今、問題視されている「ふるさと納税」は本市にとっても切実な課題であり、国が検討を進める「幼児教育・保育の無償化」や来秋に予定される消費増税による本市への影響や課題等の財政面、頻発する自然災害に対する危機管理体制、デジタル社会への取り組みやAIなどの最新技術の活用のあり方、環境に配慮したまちづくり、学校現場でのいじめの問題、人権問題、そして各区、それぞれの街の課題等々をはじめとして行政の見解を質します。

川崎区選出議員として「ココ」に注目！

川崎区選出議員としての立場からは、先日、報道でも発表された JR 川崎駅東口のマルイ撤退後の川崎ルフロンへの水族館誘致について、区民館機能を担ってきた川崎市教育文化会館の老朽化に伴う労働会館（サンピアンかわさき）への機能移転について、強い関心を持って臨んでいます。特に JR 川崎駅東口のまちづくりは、川崎区内外の多くの方から高い関心が寄せられており、「川崎市の顔」、「川崎市の玄関口」に相応しい計画や取り組みが必要です。今年、北口通路が供用開始となって以来、回遊性をより高めるためにも南口も必要とのお声が地元からも多くなっています。さいか屋跡地に商業施設が開業する予定もあり、JR 川崎駅の東口をどのような街にしていくのか、引き続き取り組んで参ります。

また、川崎区は市内で唯一、海に面した街です。今秋も「みなと祭り」が盛大に行われ、横浜市とを結ぶクルーズ船の試験運航も行われました。「川崎ならではの海・港の魅力に触れたい」と思っている方が実は多くいらっしゃいます。工場夜景は今や全国的に有名になりましたが、東扇島はBBQ 場やグラウンドが整備されていますし、釣り場としても注目スポットです。日中も楽しめる、イベントの時だけでなく日常的にも市民が楽しめるよう、今後も川崎の港の魅力向上に努めて参ります。